

役員室 だより

新副学長



瀧原 圭子
健康問題・男女共同参画担当

昭和55年3月 長崎大学医学部医学科卒業
61年3月 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了
医学博士(大阪大学)
61年4月 大阪通信病院第二内科医師
62年4月 トロント大学心臓血管研究センター博士
後研究員
平成2年2月 大阪大学医学部附属病院医員
4年8月 同 助手医学部
11年4月 同 助手大学院医学系研究科
14年8月 同 講師大学院医学系研究科
16年4月 同 助教授保健センター
20年4月 同 教授保健センター
23年8月 同 総長補佐(平成26年9月まで)
24年4月 同 保健センター長(平成28年3月まで)
26年10月 同 副学長(平成27年8月まで)



北岡 良雄
新大学院設置担当

昭和49年3月 大阪府立大学理学部卒業
51年3月 大阪大学大学院基礎工学研究科
修士課程修了
51年3月 東京大学物性研究所文部技官
56年1月 理学博士(東京大学)
57年7月 神戸大学助手理学部
60年8月 大阪大学助手基礎工学部
平成2年4月 同 助教授基礎工学部
9年4月 同 教授大学院基礎工学研究科
15年5月 同 極限科学研究センター長
(平成18年3月まで)
18年4月 同 極限量子科学研究センター長
(平成20年3月まで)
24年4月 同 理事補佐(平成26年9月まで)
26年10月 同 副学長(平成27年8月まで)

スーパーグローバル大学創成支援 事業に採択

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に大阪大学が採択されました。

本学は、「GLOBAL UNIVERSITY「世界適塾」」構想を申請し、国際競争力を備えた研究型総合大学として更に飛躍するために必要なグローバル化、教育改革、マネジメント強化等に精力的に取り組み、創立100周年を迎える2031年には世界トップ10の研究型総合大学となることを目指してまいります。

- 「世界適塾」構想の下での今後の主な取組
- ◆総長の下に設置する未来戦略機構を介し形成された新しい異分野統合・新学術領域の研究分野を基盤とした、次世代グローバル大学院である「世界適塾大学院」を平成29年までに設置し、本学の分野横断的な教育研究の強みと、柔軟な人事制度等のマネジメントの特色を最大限発揮させた組織として、今後の全学的な大学院システム改革を牽引します。
- ◆学事暦を見直し、全国でも珍しいクォーター制(3学期制)を導入します。併せて、授業体系の見直しと整理により、学生の主体的な学修時間を確保するとともに、留学生受入れを更に進めます。
- ◆グローバルアドミッションズオフィスの下、日本語能力の獲得と併せた留学生入試制度を新しく導入し、留学生獲得戦略の幅を広げるとともに、新たなAO入試の全学的実施に向け、学内準備を早急に進めます。
- ◆海外の教授クラスの研究者が大阪大学で活動する「国際ジョイントラボ」について、今後国際的に認知されることが見込まれる異分野統合的な新たな研究領域を含め、現行22のラボを平成35年度までに100に増やします。
- ◆年俸制の対象教員の拡大、クロス・アポイントメント制度等の柔軟な人事・給与制度を最大限活用し、優秀な外国人教員を3年以内に倍増します。
- ◆学位プログラムの体系化と並行して、ナンバリングの全学導入を実施します。
- ◆edXが提供するMOOCsを介した国際水準の講義を導入するなど、国際通用性のある教育の質保証を実現します。

経営協議会委員が適塾を見学

9月24日(水)、今年度第2回目の経営協議会が中之島センターで開かれました。

出席委員からは、大阪大学の取り組みや運営に対して次々と質問や意見が出され、今後の大学運営の課題として検討を進めることとしました。

また今回は、会議の前に新任の委員の方に大阪大学の沿革を理解していただくため、「適塾」の見学会を行いました。永田靖副学長(適塾記念センター長)から、緒方洪庵の業績、塾生の活躍、適塾の果たした意義などを説明していただき、委員の方には大阪大学の歴史と教育研究の奥深さを感じ取っていただきました。



- ◆大阪大学独自のTeaching Fellowを制度化し、TA(Teaching Assistant) 制度を発展させます。
- ◆PFI方式を生かした持続可能な計画により、混住を前提とし、教職員分と合わせると2600戸規模となるグローバル・ビレッジ計画を着実に進めていきます。
- ◆カリフォルニア大学のオフィスを大阪大学に誘致し、教員の招へい活動やサマープログラムの計画を進めます。
- ◆来年6月に、国内外の45大学が加盟している環太平洋大学協会(APRU)の年次総会の主幹を大阪大学が務める(大阪で開催)など、多種多様な国際的の大学間連携の枠組みに積極的に参加し、戦略的に大学連携を進めます。

※本事業の概要資料を本学公式ウェブページに掲載しています。

役員室だより

大阪大学ベンチャーキャピタル(株)の事業計画が認定されました

官民イノベーションプログラム(大学に対する出資事業)は、成長による富の創出のため、研究開発成果の事業化・実用化に向けた官民共同の研究開発を推進することを目的としています。

本学は、大阪大学ベンチャーキャピタル(株)の発起人として、産業競争力強化法に基づく「特定研究成果活用支援事業計画」を文部科学省・経済産業省に提出し、9月1日付けで認定を受けました。

今回の認定を受け、本学から大阪大学ベンチャーキャピタル(株)に出資する資本の額が文部科学省から認可された後、本学が出資する会社が設立される見込みです。

その後、大阪大学ベンチャーキャピタル(株)を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合(ファンド)の計画について、文部科学省・経済産業省の認定及び本学からファンドに出資する金額について、文部科学省の認可を受けることで、投資活動が開始されます。

大阪大学ベンチャーキャピタル(株)は、大学に対する出資事業の推進に当たり、大学の技術・研究成果をもとに企業等の学外リソースの協力を得ながら、起業を目指すとともに、本学の共同研究講座(部門)・協働研究所とも連携し、研究成果の実用化促進に向けた取り組みを進めていきます。

理事・副学長 馬場 章夫

革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)大阪大学拠点発足記念行事を開催

本学は平成25年度に文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択され、7月2日(水)に大阪大学銀杏会館で『大阪大学COI拠点発足記念行事』を開催しました。

最初のキックオフ会議では、上野山雄プロジェクトリーダーの挨拶の後、産業科学研究所教授の松本和彦研究リーダー、COI企画推進室長の小倉基次特任教授から研究概要等の説明があり、その後、研究代表者から各研究課題の内容について発表が行われました。引き続き開催しました記念式典では、平野俊夫総長の挨拶や川上伸昭 文部科学省科学技術・学術政策局長(代理)・木村直人産業連携・地域支援課長を初めとして、ご来賓の方々から、ご祝辞をいただきました。

本学は今後、本COI事業を従来から進めてきたIndustry on Campusと融合し、Under one Roofの思想のもと、基礎研究から社会実装に結びつく新たな産学連携を目指して強力に推進していきますので、ご支援、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

理事・副学長 馬場 章夫



高エネルギー加速器研究機構と連携協力協定を締結

大阪大学と大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(以下「KEK」)は、7月31日(木)に大阪大学東京オフィスにおいて連携協力協定を締結しました。

大阪大学とKEKは、J-PARKでのハドロン物理の研究や、理学研究科も参加した核物理研究センターでのミュオン科学の研究などを協力して推進することとしています。

本協力協定は、今後、素粒子原子核科学分野のみならず、物質生命科学や加速器科学の分野での将来プロジェクトをはじめとする様々な分野で互恵の精神に基づく連携・協力を促進していきます。

人材交流においては、クロス・アポイントメント制度の利用を検討しており、双方の身分を持つことにより教育研究活動のアクティビティを高め、教育研究基盤の強化・発展、産学連携の推進等に結び付けることとしています。

理事・副学長 相本 三郎



平野俊夫総長(左)と鈴木厚人機構長(右)

研究成果の国際的発信支援プログラム:英語論文の投稿支援を採択

研究大学強化促進事業の一環として、若手研究者・女性研究者・外国人研究者を対象に、海外の学術誌への英語論文の投稿を支援するプログラムを実施しています。

本プログラムでは、学術英文校正業者への利用手続きや校正費用の支援とともに、大型教育研究プロジェクト支援室のリサーチ・アドミニストレータ(URA)による学術誌の投稿規定のチェック及びコメントや、当該論文を国際会議でも発表する場合、英語プレゼンテーション練習の支援、当該論文及び関連研究のアウトリーチ支援等も行っています。

本年度は7回に分けて募集を行う予定で、現在までに4回目の募集まで終了しています。

これまでに3名を投稿支援対象者として採択しました。

引き続き、若手研究者・女性研究者・外国人研究者を支援していく予定です。なお、第5回からは支援対象者の範囲を広げ、特任教員(常勤)と特任研究員(常勤)の方も応募できることになりましたので、是非ともご利用をお願いいたします。

(今後の募集スケジュール)

第5回(平成26年11月採択分)10月10日～31日

第6回(平成26年12月採択分)11月11日～28日

第7回(平成27年1月採択分)12月15日～1月8日

理事・副学長 相本 三郎

国立大学法人等による出資について



役員室だより

部局主催国際シンポジウム等開催 支援事業を選定

学術研究の成果、研究者の活動を広く海外に発信し、海外における本学のプレゼンス向上が期待できるような国際シンポジウム等を組織的に主催する部局に対して、開催に係る経費を総長裁量経費により支援することとしました。

学内公募に対して14件の申請があり、選考委員会において7件のシンポジウムを選定しました。

シンポジウム 選定一覧

開催部局	シンポジウム名
免疫学フロンティア研究センター	The 4th NIF Winter School on Advanced Immunology
工学研究科	Japan-Singapore International Workshop on Nanophotonics, Plasmonics and Metamaterials
医学部附属病院	Go Global!! 3 at San Francisco
法学研究科	今日における憲法論議：ベトナムと日本—転換期における憲法と社会— (Current Discussion on Constitutional Law in Vietnam and Japan—In the period of Global Transition—)
接合科学研究所	Multilateral Symposium “Globalization in Joining Technology and Materials Science—Collaboration Networking in Asia—”
理学研究科	International Workshop on “Double beta decay and Undergraduate Science”
経済学研究科	第2回大阪大学・チュラロンコン大学共同シンポジウム 「高齢化先進国日本と中進国タイの経済学：アジアの視点を踏まえて」 (The 2nd Joint Workshop between Faculty of Economics, Chulalongkorn University and Graduate School of Economics, Osaka University)

理事・副学長 岡村 康行

「大阪大学未来基金」寄付総額 30億円突破

大阪大学未来基金の寄付総額が、平成26年8月31日で30億円、1万件を突破しました。

平成21年5月の基金設立時より、多大なるご支援を賜りました全ての阪大関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

創立100周年に世界トップ10という本学の夢を財政的基盤として支えてゆくために、大阪大学未来基金では100億円という目標を掲げております。まだまだ長い道のりではございますが、一つの山を登り切ったと捉え、これからもたゆまぬ歩みを進めて参ります。

大阪大学未来基金への寄付については、郵便局や銀行窓口での振込に加えて、インターネットからクレジットカードでしていただくことが可能ですし、毎月・毎年定額の「継続寄付」にも対応しております。また、不要となった書籍による「古本募金」も行っておりますので、ご自宅や研究室の移動の際には、是非ご検討いただけましたら幸いです。

大阪大学未来基金へのご意見やご提案を皆様からいただき、基金の充実に活かしていきたいと考えております。

基金室長
理事・副学長 大竹 文雄



大阪大学
公式マスコットキャラクター
「ワニ博士」

大学を挙げて卒業生との関係づくりを

大阪大学が未来に向けて大学としての総合力を高めていくためには、卒業生とのつながりをより一層強化し、「阪大ファミリー」として共に発展できる関係を築いていくことが重要です。

今年4月に始動した卒業生室では、生涯メールアドレス「OUMail」の提供やメルマガ配信等による卒業生への情報発信、卒業生情報を把握するための「卒業生データベース」の構築、各同窓会との連携強化に向けた取り組みなどを開始しました。

「ホームカミングデイ」、「大阪大学の集い(東京)」、「大阪大学リーダーズフォーラム(本学出身の企業経営者等の集い)」等のイベントの企画・運営にも携わっていきます。

一方で、卒業生の帰属意識は、大学全体よりも在籍した部局や専攻等に対して強いことから、上記のような取り組みをより効果的なものにするためには、各部局の担当者と卒業生室とが密に連携し、全学的に展開することが必要と考えます。

そのため、今年中に各部局と卒業生室の担当者間のネットワークを立ち上げ、様々な情報共有を進めていきます。

教職員のみならずには、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

卒業生室長
理事・副学長 大竹 文雄



ホームカミングデイ (H26.5.3)

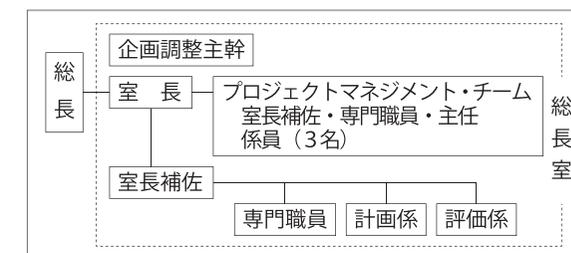
総長室の設置

本部事務機構の事務組織を改編し、その一環として、総長を補佐する体制を強化することを目的とした「総長室」を8月から新設しました。

創立100周年を迎える2031年、大阪大学は「世界適塾」として世界トップ10の研究型総合大学になることを目指しています。その目標を達成すべく、総長室は、本部事務機構や各部局と密接に連携しながら、必要な改革事項の企画・立案を含め、取り纏めを行うことにより、全学的な重要案件の迅速な処理や執行部への提案を可能とする体制を構築していきます。

理事 大木 高仁

<総長室体制図>



平成26年8月1日総長室発足式
(前列左より喜久里室長、平野総長、中原室長補佐、プロジェクトマネジメント・チームのメンバー)

総長室設置に当たっての総長指示

- 総長室は本学運営の中核を担うものであり、将来の本学を自らが担うという気概を持って、22世紀に向け本学を世界に飛翔させるべく日々の業務に邁進すること。
- 本学全体にとって何が最善かを常に考え、縦割りを排し、前例にとらわれずに懸案に取り組むこと。
- 総長の命を受け、本部事務機構や各部局と十分連携しつつ、柔軟かつ機動的な業務運営を心掛けること。
- 総長室勤務を通じての貴重な経験を互いに分かちあい、育てあう意識を大切にし、ここで得た知見を将来の本学の発展につなげること。

役員室だより

総長と文部科学省等への研修生・出向者との懇談会を開催

7月24日(木)、大阪大学東京オフィスで平野俊夫総長と本学から送り出している文部科学省行政実務研修生、日本学術振興会及び国立大学協会へ出向している職員との懇談会を開催しました。

本学では、政府や全国の国立大学の状況を見る視野を養い、そこで得た情報、知識や経験を本学に還元するとともに、当該職員の視野拡大、マネジメント能力の向上といった人材育成に寄与するため、今後の大学運営を担う若手事務職員を毎年、文部科学省等へ派遣(研修又は出向)しています。

懇談会では、平野総長から大阪大学の近況について説明があり、その後、研修生等から自己紹介及び近況報告が行われ、外から見た大阪大学の感想、教員の年俸制、事務職員採用ホームページなどの話題に終始和やかな雰囲気の中、懇談が行われました。

最後に平野総長から研修生等に対し、「文部科学省ほか、それぞれの機関において大阪大学の存在をしっかりアピールしてください」と激励の言葉がありました。



河田悌一日本私立学校振興・共済事業団理事長による講演会・意見交換会を開催

7月16日(水)、役員、部局長、若手教員等が参加した、河田悌一日本私立学校振興・共済事業団理事長による講演会・意見交換会を本学コンベンションセンターで開催しました。

当日は、関西大学学長及び中央教育審議会委員等としてのご経験を踏まえ、「日本の高等教育の現状と大学ガバナンス改革」と題した講演と意見交換が行われ、河田理事長から、「首都圏ではない大阪に立地する大阪大学は、もっと大阪に自信を持ち、大阪らしさを前面に打ち出す積極的なPRが必要ではないか」と助言がありました。



河田理事長



表彰・受賞等

第12回(平成26年度)産学官連携功労者表彰

大阪大学	文部科学大臣賞	「大阪大学発の新しい産学連携制度『共同研究講座』」
医学部附属病院(未来医療開発部) 名井陽 副センター長・教授	経済産業大臣賞	「強度と骨組織の入り込みやすさを同時に実現した人工骨を商品化」

第32回(平成26年度)大阪科学賞

産業科学研究所	安藤陽一 教授
免疫学フロンティア研究センター	石井健 特任教授

平成25年度特別研究員等審査会専門委員の表彰(日本学術振興会)

理学研究科	深瀬浩一 教授
工学研究科	舟木剛 教授
産業科学研究所	西野邦彦 准教授

受賞等

理学研究科	赤井久純 名誉教授	CMD PRIZE (計算機マテリアルデザイン賞) ※第25回コンピューショナル・マテリアルズ・デザイン (CMD®) ワークショップ
医学系研究科	高井義美 名誉教授	2014年度武田医学賞
医学部附属病院	豊川真弘 主任臨床検査技師 井上直哉 臨床検査技師	第24回ARMAM賞 平成26年度臨床化学会学会賞 Young Investigator Award 及び 平成26年度臨床化学会学会賞奨励賞
医学部附属病院(医療情報部)	堀島裕之 事務職員(診療情報管理士)	日本診療情報管理学会 優秀論文賞
工学研究科	牛尾知雄 准教授 杉本宜昭 准教授 森伸也 准教授 倉敷哲生 招へい准教授	「2013年に行われたISSでの研究のうち、もっとも技術的な達成を成し遂げた研究」としてNASAから表彰 ハインリッヒ・ローラー・メダル-ライジングメダル- ノッティンガム大学栄誉教授の称号 日本繊維機械学会 論文賞
基礎工学研究科	井手口裕太さん(D1) 長坂信吾さん(M2) 三坪孝之さん(M2)	システム制御情報学会奨励賞 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会 学生発表賞 映像情報メディア学会 優秀論文発表賞
情報科学研究科	西尾章治郎 教授	電子情報通信学会 エレクトロニクスサイエティ学生奨励賞
生命機能研究科	濱田博司 教授	平成26年度「情報化促進貢献個人等表彰」文部科学大臣賞 第19回慶應医学賞

— 第8回大阪大学総長による表彰 —

文学研究科	山上浩嗣 准教授	工学研究科	山岡ゆり子 技術専門職員
人間科学研究科	大谷順子 准教授		加門邦彦 技術専門職員
法学研究科	砂原庸介 准教授	基礎工学研究科	直田健 教授
理学研究科	橋本幸士 教授 高見剛 助教 境家達弘 助教	微生物病研究所	松浦善治 教授
医学系研究科	荒尾晴恵 教授 澤井元 准教授	産業科学研究所	藤塚守 准教授 HE YUHUI 特任研究員(常勤)
歯学部附属病院	森崎市治郎 教授 村上旬平 助教	蛋白質研究所	阿部直行 技術職員
工学研究科	大満和人 技術専門員 川端修 技術専門員	核物理研究センター	井手口栄治 准教授
		コミュニケーションデザイン・センター	八木絵香 准教授
		免疫学フロンティア研究センター	森勇樹 特任助教(常勤)
		総務企画部	杉山隼人 事務職員
		環境・エネルギー管理課	佐山博志 専門職員